

2 学力向上アクションプラン

横浜市立東中田小学校 令和元年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
自らががやく、ともにかがやく	自分づくりに関する力 心身ともにたくましく生きる力 言語能力

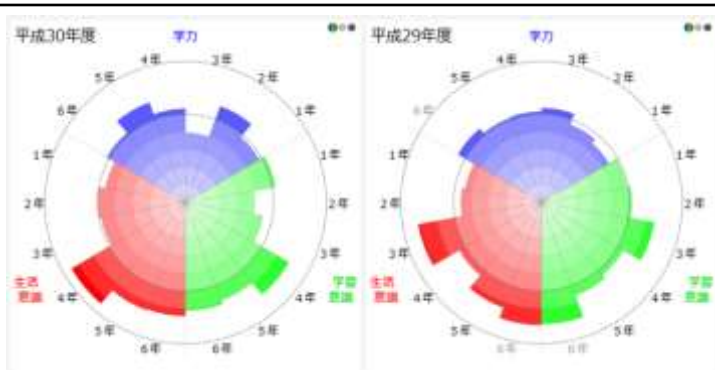
(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>学校教育目標の具現化のために、「いじめのない、明るく仲良く楽しい学校」づくりを目指します。(一人ひとりに寄り添い、見守り、安心して子どもたちが自分のよさを発揮できる場作りを「ハンドメイド」の合言葉のもと、行っていきます。)</p> <p>(知)分かる喜びと学び合う楽しさを通して、課題解決に向けて粘り強く取り組む態度を育てます。</p> <p>(徳)自尊感情を高め、物事の善悪を判断し、感謝の気持ちを持ち、思いやりをつなげ、実践していく心と態度を育てます。</p> <p>(体)自他の生命を尊び、困難にも負けないたくましい心を持ち、進んで健康づくりに取り組む態度を育てます。</p> <p>(公)地域の方々への挨拶も自分から進んでできるような地域との関係づくりをし、まちが大好きな気持ちを育てます。</p> <p>(開)様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げ、国際社会で生きる力を育てます。</p>

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①安心して自分の考えを深めたり、表現したりすることができる授業展開を図るとともに、各学年に応じた教科担任制を継続し、指導の統一性をもたせる。
担当 学習部会	②重点研究のテーマ『「授業のつながり」を大切にしたカリキュラム編成』を通し、資質能力の育成を目指した地域材を生かす授業のありかたを探る。

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握



(1) 学力の概要と要因の分析

市平均より学力が高い学年が3学年、低い学年が2学年ある。第5学年(現6年生)と第2学年(現3年生)の学力が大きく向上している。学習意識及び生活意識は、高学年では高い状況にあるが、低学年では横浜市の平均に比べて低さが見られる。低学年における学習意欲や学校生活の低さが課題であると考えられる。

(2) 教科学習の状況

- 国語科：全体的に「読む」に課題がある学年が多い。文章の内容を読み取ったり、情報を活用して考えたりすることが課題である。
- 算数科：3年生(現4年生)が市平均を下回っている。学年によって、意識・学力の差が大きく開いている。
- 社会科：3年生(現4年生)が市平均を下回っている。4・5年生は、基礎・基本が概ね定着している。
- 理科：4年生(現5年生)「知識・理解」が市の平均を下回っている。理科の学習に対する意識は他教科と比べて高い。

(3) 経年変化の状況と要因の分析(学習・生活意識調査も含めて分析)

平成29年度までの過去3年間の経年変化の状況から、学校全体としてはほぼ市の平均に位置していたが、平成30年度は学力が高まった学年と下がった学年がある。学習意識や生活意識は高学年が高く、低学年が低い傾向にある。特に「勉強が好きですか」や「生活科・横浜の時間で学ぶことは好きですか」が低い。より子どもたちにとって身近な課題や地域に根差した材を活用した学習を通して、子どもたちが主体的に学び、自分づくりに関する力を高めていくことが求められる。

3 令和元年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◆周りに興味をもつ ◆自分の考えをもつ ◆自分ができるところを考える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼保小の交流を通して、自分にできることは何かを考えられるようにする。 ○実態に合わせた体験活動を通して、周りに興味をもって、課題に向き合えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分できることは何かを考え、実践できるようにする。 ○周りに興味をもって課題に向き合う中で、自分の成長を感じられるようにする。
2年		<ul style="list-style-type: none"> ○学習全般を通して、人やものとの関わりの中で、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 ○豊かな体験活動を設定することによって、周りに興味をもち、自ら学習する意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習全般を通して、人やものとの関わりの中で、考えをもち、自分の思いや考えを体現しようとする。 ○豊かな体験活動を設定することによって、周りに興味をもち、自ら学習する意欲を高める。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◆友達とともに課題を解決していこうとする力 ◆相手の考えを聞き入れる姿勢 ◆自分の考えを深め整理する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の活動に関わる場を設けることで興味や疑問をもち、同様の課題をもつグループを設定することにより、友達と協働して解決するようにする。 ○相手の考えを聞くことで、自他の考えの相違点や共通点に気付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域への関心を深めることで自ら課題をもち、友達と協働して解決するようにする。 ○相手の考えを聞くことで、自他の考えの相違点や共通点に気付き、考えようとする。
4年		<ul style="list-style-type: none"> ○相手の考えを聞くことで、自他の考えの相違点や共通点に気付き、よりよい考えになるように話し合い活動を行う。 ○段階的な発表場面を展開し、自分の考えを検討することを通して考えを整理する力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自他の考えの相違点や共通点に気付くことで、よりよい考えになるように話し合い、実践的活動を行う。 ○段階的な発表場面を展開し、自分の考えを検討することを通して考えを整理し、まとめる力を育てる。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ◆課題解決の方法を選択する力 ◆多角的なものの見方 ◆合意形成能力 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活上の課題を解決するために、多様な意見を取り入れながら、よりよい解決方法を考え出せるようにする。 ○子どもたちが納得するまで自分の考えを表現し、伝えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活上の課題を解決するために、多様な意見を取り入れながら、よりよい解決方法を考え出し、実践する。 ○子どもたちが納得するまで自分の考えを表現し、伝え合う。
6年		<ul style="list-style-type: none"> ○学習問題を解決していく中で、色々な角度から事象や問題を捉えたり、見つめ直したりする力を伸ばす。 ○お互いの意見の共通点や相違点を認め合いながら合意形成が図れるような話し合い活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習問題を解決していく中で、色々な角度から事象や問題を捉え、見つめ直し、選択する力を伸ばす。 ○お互いの意見の共通点や相違点を認め合いながら合意形成が図れるような話し合い活動を行う。
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> ◆周りに興味をもつ ◆粘り強く取り組む力 ◆自分の考えを伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間との共有体験や共同的な学習活動を設定する中で、身近な人や環境について興味関心をもてるようにする。 ○体験を通して感じた考えや思いを表現する場面を設定することで、必要感をもたせ、それらを伝えたいという意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間との共有体験や共同的な学習活動を設定する中で、身近な人や環境について興味関心をもち、課題解決していこうとする。 ○自ら伝え、表現したいという思う場面での実践を通して、よりよく伝え、表現しようとする。